

■本部総務委員会

毎月1回の頻度で実施された本部総務委員会（WEB方式）に毎回出席。

【主な議題・検討内容】

- ・入退会審査／フェロー会員審査
 - ・委員会構成及び委員会規定、同運用基準について
 - ・オンライン入会の手法検討について
 - ・WEBサイトにおける情報漏洩対策について
 - ・業務委託及び助成金・補助金関連のコンプライアンス強化について
- など

■知財ワーキンググループ（本部総務委員会WG）

「知的生産者の公共調達の関する法整備連絡協議会」の支援を目的としたワーキンググループ
上垣内主査より、設計プロボロへの最新の新たなガイドライン検討の提案があり、今後準備を進める予定。
・既存の各団体が作成しているガイドラインの収集、確認

- ・既存の発注支援団体との連携
 - ：北海道であれば北海道建設技術センターのような組織
 - ：支援機構、士会、JIIHa、JCAABE
- ・アンケート調査からも把握されたJIAとして望ましいプロボロのあり方の提案
 - ：参加条件の緩和、二次審査への報酬など
- ・外部審査員の紹介システム

北海道支部ではJIA正会員になっている大学の先生を「建築学術グループ」としてリスト化
・多様な発注方式（PFI、DBO、DBなど）におけるプロボロもフォローできれば

など

■広報グループ …グループリーダー 堀尾 浩

・6/2 引継ぎ打合せ
菅沼幹事長、鷺見副支部長、石塚氏、登尾女史出席のもと、広報業務の引継ぎ打合せを事務局で行う。
引継ぎ説明は、現状に至る経緯をJIA発足当初からの小史を交え、近年のSNS対応までヒアリング。
今後の課題を情報共有する。

○10/2 2024年度予算の提出
・「HOKKAIDO ARCHITECTSの横顔」の計画及び予算案を提出。
・その内容について、概ね了承いただいた。

○11/5「HOKKAIDO ARCHITECTSの横顔」見直し内容の提案
・2024年度からは、作成にかかる時間や手間を軽減するため年に3回の発刊を目指す案を提案。
・インタビュー記事を一人に縮小し、他は会員の自己紹介ページとして4～6名を掲載する提案。
・自己紹介ページは、数種類のフォーマット用意することで会員自身に情報提出してもらう。
・編集作業から登尾サイドで作業を行うことで、時間と製作経費を軽減する提案。

○1/24「HOKKAIDO ARCHITECTSの横顔」新フォーマット提出
・自己紹介ページについて、A3とA4案を提出。
・会員の紹介を出来るだけ多く載せることを優先してA4フォーマットで進めることに決定。
一冊子で6名以上の掲載を基本とすることを確認。
・自己紹介ページのデザインについて、紙面のバランスから左寄の幅をできるだけ少なめに調整。
・以上の内容で次回冊子より自己紹介ページを掲載することを確認決定する。

○ 2/26 北海道支部HPについて
・HPトップページの写真を北海道鋼機デザインアワードの入選建物写真に入替え更新を行う。
・エッセイの斎藤氏より旧式となった現状HPの見直しが必要との助言をもらう。

● 「HOKKAIDO ARCHITECTSの横顔」活動について
・9月末にvol.03を発行。
・次号のvol.04では、2023年内の印刷提出、2024年春刊行予定。
・2024年度の刊行のvol.04より、自己紹介ページを掲載。

● 本部広報委員会の活動について
・2024年度、8月から3月までの月～ZOOM会議に出席。
・9/12、東京での顔合わせリアル会議に出席。
・1/13、本部HPのトップページ写真の更新に伴い、アトリエブツ「安平町立早来学園」を提出

■職能業務グループ …グループリーダー 阿部 泰朝

1）北海道建築設計会議への参加
建築設計関連11団体（10団体＋新聞社）で構成される会議体で、年間6回開催された。
建築設計の団体に加え、設備設計、構造設計、積算などの団体で構成され、幅広い情報交換の場となっている。本年度の会議は対面で行われ、議題としては24年問題における、各団体での時間規制対策、ラピダスや駅前再開発などによるコスト増加、工期遅延など団体ごとに抱える課題の共有に多くの時間を費やした。また、継続のテーマである報酬問題、環境問題、BIM活用についても議論を行った。BIM教育について、建築・構造・設備・積算との機動的な情報共有・教育の機会を作れないかとの意見も出ており、JIAとしても関わり方を模索していくこととなる。

全道建築確認円滑化対策連絡協議会に出席し、建築基準法改正に関する意見交換を行った。

■まちづくりグループ

…メンバー：○小倉、石塚、大杉、久保田、櫻井、中館、山之内、山本

1：支部活動
特に活動なし
2：北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会
2023/11/22_令和5年度北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会

■全国まちづくり会議

メンバー：○小倉
1：定例会議
全8回開催：主に今年度のイベント準備について協議

2：イベント
2023/6/13_まちづくり萌芽事例のオンラインレクチャー
2023/10/25_JIA建築家大会2023 東海 in 常滑オンラインイベント、シンポジウム
「脱経済成長とコモンを捉えた建築まちづくり/地球環境と幸せを考える」
2023/11/8_まちづくりワークショップ企画
「まち歩き 常滑の「たから」と「あら」を考え提案しよう!」

■みどり野きた住まいるヴィレッジワーキンググループ
メンバー：○小倉、照井、菅沼、弘田、米花
1：令和5年度「みどり野きた住まいるヴィレッジ」等に係る調整等業務（北海道からの委託）
みどり野きた住まいるヴィレッジ定例会への参加
みどり野きた住まいるヴィレッジ情報共有方法等（DR、申込など）についての照会
募集要項の改訂（グループメンバー、OH期間など）についての照会
建築家メンバー（JIA4名）の登録更新についての照会

きた住まいるヴィレッジの配置図データ作成支援
2024/2/13 デザインレビュー（メール閲覧方式）

■ゼロ・カーボンヴィレッジワーキンググループ
メンバー：○小倉、照井、菅沼、弘田、米花
1：令和5年度「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」プラン集等作成業務
2：ゼロカーボンモデルヴィレッジプラン集データ作成業務（公社）
パンフレット（データ、製本）配布開始
3：令和5年度「厚真町ゼロカーボンヴィレッジ」に係る敷地等の検討支援業務

2023/11/24_打ち合わせ（顔合せ）、現地調査
2023/12/13_打ち合わせ（計画概要）
2024/1/29_北海道、厚真町、JIA北海道支部の3者にて情報共有

■住宅グループ 住宅グループ 2023年度 活動報告書

2月1日、2日の二日間 近畿支部、九州支部より18名、北海道支部より16名、そして佐藤会長を含む総勢約35人の会員が冬の北海道を訪れ、札幌、旭川の建築を巡る北海道建築見学会（交流会）を下記スケジュールにて行いました。

・2/1(木) 札幌建築見学

頭大仏（南区滝野聖園） 安藤忠雄

↓
円を内包する家（南区西園） 圓山彬雄

↓
上達野邸（南区川沿） 上達野徹

↓
名古屋邸（南区北ノ沢） 名古屋英紀

↓
KB、作品発表会（交流会） 近畿住宅部会（岡田良子、矢部直輝）
北海道支部作品発表（豊嶋守、圓山彬雄、櫻井百子）

・2/2(金) 旭川建築見学

AIZAWA 深川工場（深川市広里町） 圓山彬雄

↓
北方建築総合研究所（旭川市緑が丘東） 菅沼秀樹

↓
大矢邸（旭川市緑ヶ丘南） 大矢二郎

↓
懇親会

冬真只中の北海道ツアー、道中吹雪による交通障害もありましたが、近畿支部、九州支部から参加された会中は冬の北海道の建築を見学し、北国の建築の考え方（建築計画・設備環境など）そして雪国の厳しい生活を体感してもらうことで、北海道の建築レベルの高さを実感してもらう良い機会となりました。

■住宅等連携会議 2023年度 活動報告書 2024.4.3

弘田亨一

■定例会議 月1回（2023.5月～毎月開催）
月に1回のペースでzoomにて各支部から1名ずつ集まり、住宅等小規模向けの建築家の活動について議論をしています。

■2023年度の主な活動実績
① 国交省が行うバブコメへの参加
国交省から募集のあった現行法改正についてのバブコメについて、住宅等連携会議から、特に省エネ、4号特例に関する改正内容に対する意見を提出しました。
今後、提出したバブコメの取分をまとめてweb上で公開することも検討しています。

② 地域で活躍されている建築家の紹介
建築家インタビューという形で、地域で活躍されている建築家を住宅等連携会議のホームページ上で紹介する活動を行っています。
2023年は、九州支部の智原さん、四国支部の嶋門組さん、中国支部の大角さんのインタビューを行い、現在web上への公開準備中です。

③ 建築家、風土をデザインする
JIA建築家大会2023常滑のオンラインイベントとして行いました。
パネリストに、末光弘和さん、水野友洋さん、柿川麻衣さん
ファシリテーターに、小嶋哲夫さんをお迎えし、2時間のイベントをzoomにて行いました。
来年度の全国大会でも同様のイベントを行う予定で計画しています。

④ コンベ・プロボ参加支援企画
小規模事務所が参加できるコンベ・プロボの成功例をピックアップして、行政支援の事例などを共有し、今後の活動の参考にできるように活動をしています。

⑤ BIMについて
本部からの依頼もあり、小規模事務所へのBIM導入の促進を図るため、BIMに関する座談会や勉強会を企画中です。

■HK アワードグループ 2023年度 活動報告書 2024.4.3

弘田亨一

第6回北海道鋼機デザインアワード「鉄がつくるこれからの原風景」を、新たに北海道大学の松島先生を審査委員長にお迎えし、以下の要領で行いました。

2023年7月1日～ 募集開始
9月30日 応募締切
10月10日 一次審査 場所：JIA事務局
応募総数21作品の中から、5作品を選出
11月5・6日 現地二次審査
現地審査後、JIA事務局にて最終審査

最終審査を経て、以下のとおり、受賞者を決定いたしました。

最優秀賞 作品名 HOUSEE03・盤溪の家

設計者 佐藤 主、三木 万裕子

優秀賞 作品名 芽室町役場庁舎

設計者 加藤 誠、池村 菜々、太田 豊

優秀賞 作品名 Gentō

設計者 須藤 朋之、山脇 ももよ

入賞 作品名 銀鈴壁の境界

設計者 高野 現太、山脇 克彦

入賞 作品名 夏の家 設計者 久野 浩志

上記結果は、2023年12月末に北海道鋼機デザインアワードNEWSとともに、JIA北海道支部、北海道鋼機さまのweb上で公開いたしました。
表彰式は、2024年5月のJIA北海道支部総会後の意見交換会でを行います。

■建築学術グループ …リーダー 米田浩志

(1) AIJ-JIA ジョイントセミナー、
2023年6月29日(木) 17:00～18:00、JIA事務局ハイブリッド開催

今年は、免震構造研究の第一人者である北海道大学大学院教授菊地優先生に講演していただきました。
開催日時：6/29(木)17:00～18:00 zoomによる講演
演題：「今、免震が熱い」
講演者：菊地 優 北海道大学大学院教授、日本建築学会前北海道支部長
司会：米田浩志 JIA北海道支部 建築学術グループリーダー

2015年の日本建築学会賞受賞者の菊地教授の免震解析・技術は、「菊地モデル」として、日本国内のみならず世界の研究者・技術者に広く普及しております。一例を挙げると世界文化遺産に登録された国立西洋美術館の免震化工事の設計にも用いられています。

企画担当：JIA北海道支部建築学術グループ 佐藤 孝、米田浩志

(2) 2023年度 AIJ-JIA 活動報告会
開催日未定

■教育グループ …リーダー 十河昌司

1) 令和5年度（2023年）高校生建築デザインコンクール
道内の建築を志す高校生らの勉強の励みとし、将来の建築家・建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度（1996年度）から実施。道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイディアを募集するコンクールである。

■設計課題：きた住まいるヴィレッジに建つ、子育てで楽しくなる北方型住宅
～設計にあたっては、自然豊かな南幌町で、地域に根差し、家族でのびのびと子育てを楽しむことができる北方型住宅を提案してください

■敷地面積：1,058.86㎡
■建築物の構造・規模：構造は壁面のみ 延床面積 120㎡程度 平屋または2階建て 1棟
■設計条件：敷地境界からの壁面後退距離 1m以上確保すること、庭付き一戸建てとする

■応募資格：道内の高等学校（建築系学科）に在籍する個人または2名のグループ
■提出図面：JIS規格A2版 横置き1枚片面に下記のすべてを表現すること
・基本図面
・設計主旨（300文字以内で完結し記入のこと）
・配置図（敷地・方位・内配図）、平面図、立面図、断面図 縮尺1:100～1:150
・スケッチまたは模型写真または透視図

・面積表
■応募作品：5校参加、全49作品の応募あり

入選作品：最優秀作品 ～ 1作品

優秀作品賞 ～ 3作品

佳作 ～ 4作品

特別賞 ～ 2作品

■経 過：募集要項配布 令和5年 7月 5日
作品受付 令和5年1月30日まで

選定委員会 令和5年12月15日

建設産業ふれあい展 令和6年 1月7（札幌駅前地下歩行空間）

■共 催：北海道建設建設教育局建築教育課
北海道教育庁学校教育局高校教育課
公益社団法人 日本建築家協会
一般社団法人 北海道建築士事務所協会
一般社団法人 北海道建築士会

2) 北のジュニア・オープンデスク
■新型コロナウイルスの影響により、安全や健康等を考慮し中止としてきたが、社会の事情より緩和された感があり、3年ぶりの開催を望みたい。その影響もあつてか参加者は少なかったが、ありがたいことに札幌国際情報高等学校より2名の応募があった。
研修期間は2023年7月31日から8月2日

3) 本部教育委員会
■委員会はWEBにて実施（全7回）
・第1回目： 2023年 6月24日 18:00～20:00
・第2回目： 2023年 8月29日 18:00～20:00
・第3回目： 2023年10月23日 18:00～20:00
・第4回目： 2023年12月4日 18:00～20:00
・第5回目： 2024年 2月5日 18:00～20:00
・第6回目： 2024年 3月18日 18:00～20:00

■主な議題
・今年度の本部教育委員会の構成・委員の紹介
・委員会のミッションおよび本部実務の教育関連事業について
・各支部の活動状況を共有化
・各支部の新入会員対応、教育プログラム実施状況の共有化
・2023年度オープンデスクの実施について
・オープンデスク規則改定（案）について（承認手順等について一部変更改定する案）
・JIAスクールの各支部実施プログラムの状況について（承認状況の確認）

・今後に於いてC/PD評議会と協力体制を組むように広報するかの方法を模索
・次年度の委員会構成・委員について

■事業活動報告
・第24回フリッシュセミナー2023（令和6年2月25日～27日 参加12名）
・建築フィールドトリップ（ブレ開催）（令和6年3月10日 大阪中之島美術館 参加80名）

■次年度の活動予定（2024年度）
・社会状況を鑑みながら徐々に活動をスタートし、上記に挙げた議題について具現化しながら、会員にとって有益な情報源を発信すべく教育委員会を本格始動する予定である。

以上

■道東地区グループ …グループリーダー 眞壁 喜男

2023年度 道東地区 活動報告

■7月4日
法人協会商品説明会、意見交換会開催。
参加法人協会有は14社、各社ブースを設け来訪者に商品説明を行うスタイルで開催。
30数名の参加。

■10月4日
建築家スライドレクチャー開催。月曜塾主催、JIA道東地区協力
「創路市交流プラザさいわい」にて18:00～20:00
建築家は「アカサカシンイチロウアトリエ」の赤坂真一郎氏。
30名弱の参加、レクチャー終了後、多くの質疑応答がありました。

■10月4日～10月8日
北海道の建築 巡回展2023：集合！ほっかいどう建築設計団「建築展」開催。
ワークショップ「木製マグネット工作」も開催。
4日間の開催期間でしたが約330名の来場。

■11月9日・10日
JIA建築家大会2023 東海 in 常滑に創路より正会員2名参加。

■月曜塾
総会・新年意見交換会 1月23日
例会 2月13日・3月13日・4月10日・5月8日・6月12日・7月10日・9月11日・11月13日
懇親会（花見）5月27日・忘年会 12月9日

■本部C/PD評議会 C/PD評議会委員 中裁則喜

毎月1回開催されるC/PD評議会（Web会議・プログラムの審査）に出席のほか、毎月半ばのメール審査を委員交代で担当。

建築C/PD運営会議プログラム判定指針の改定により「学習と関係のない時間」（認定時間対象外）に追加された内容を、プロバイダーに通知。申請時には、以下の対象外時間が判断できるようタイムテーブルに明記して提出するよう依頼。
・主催者の開会、閉会の挨拶および次回開催予定の講習会のお知らせ
・休憩時間、飲食時間
・移動時間
・試験、考査等の時間
・商品、製品やサービスの説明時間＝P/R時間
・その他、通念上学習とはみなされないもの時間

令和6年能登半島地震における被災建築物応急危険度判定に参加した者について1日当たり7単位のC/PD単位として認定することとした。

以上

■一支部建築家資格制度実務委員会ー

委員長：大田司（支部委員長）

副委員長：中裁則喜

委員：山之内裕一、澤康昌、中館誠治

■登録建築家更新・再登録審査
2月20日、申請内容の調査を支部資格制度実務委員会で行い、2021年3月18日に登録建築家の更新・再登録の認定評議会をWEBにて行いました。
今回の登録認定評議会は北海道支部全体で13名です。再登録については2名です。いずれも細則10条1項による再登録で承認されました。

■登録建築家の新規認定審査
今年度は新規の申請者についてはありませんでした。

■支部資格制度委員会での意見（2/17の支部申請調査時の意見交換）
・登録建築家（以下RA）に認定登録しない会員の意見を聞いてみたい。
・直近のヒアリングでは、メリットを感じないという意見が多く、若手の中には金銭的な負担重や、建築家と呼ばれるだけのキャリアが本人としては不足していると感じている、年齢的にもういいだろうと見切られる方等等。
・RAのあるメリットがある登録するメンバーが増えると考えられるので、その開発は進めていくべき。

・理事懇談では建築士会との連携が必要となってくるが、エイベックアーキテクトのほうで資格の内容内容としてはRAに近くて影響力も大きいため、これも登録するメンバーが増えるのではないかと。
・上記から、国を巻き込む形を取らないと資格化できないので、いずれにしても他の会や仕組みと連動させることが必要。
・①の資格の名称も重要となってくるであろう。他の民間等ですでに使用されている名称とは区ききんと区別できる名称が必要。

・①の資格に、これを取ろうという魅力が足りないのではないか？
・登録建築家証（カードタイプ）のものは、きちんとデザインされたものが用意できると良い。
・RAの社会貢献活動を何らかせいか。（震災等への対応他）結果、広報に繋がることと良い。
・WEBサイトに新しくデザインされたものに更新して、魅力付けをしていく必要がある。

■支部委員会の活動方針について
・資格制度のしくみを見直す理事懇談会の結果を踏まえ、特別委員会の設置等と合わせて、新資格制度の移行を検討する。
・上記を進める間にも、登録建築家のプロモーションは継続する。
・北海道支部独自の取り組みとして、登録建築の見える化の検討を行う。

以上、2023年度の支部建築家資格制度実務委員会の活動報告です。

■2023年度 旭川地区会 活動報告 …グループリーダー 石田純枝

■旭川地区会会議（展覧会打合せ、作業参加含む）

【開催】4/3、4/17、5/1、5/15、5/30、6/9、6/14、6/19、7/3、
10/3、11/29、12/27、2/20、3/12、3/27

■北海道の建築 巡回展 旭川地区開催
会期：6／15（金）～7／18（火）
入場者数：約1200人
ギャラリートーク開催：6/17、6/24、7/1、7/8 11:00～会期中4回開催
解説スピーカーは旭川メンバー
ゲスト 島崎氏、圓山氏、上達野氏
7/8日は「Asahiakwa School 57」と併催

■Asahiakwa School

□ vol.1.57 / 2023年7／8（土）11:00
「北海道の建築 巡回展2023」スピーカー：上達野、大矢ほか
【参加人数】10名＋ギャラリールー来館者10名ほど 計約20名

□ vol.1.58 / 2022年11／10（土）18:30 Zoom併催
駅とまちづくり「北彩都あさひかわ」事業の検証を通して スピーカー：大矢
【参加人数】10名

■あさひかわ市民協働まつり（旭川市民協働イベント）に参加

旭川地区会は旭川市市民活動団体として登録しているが、「市民の日記念事業」のイベントに参加の依頼があった。JIAのメンバー紹介パネルの展示や折り紙建築のワークショップを開催した。

2023年7月30日（日）10:00～17:00
旭川市市民活動交流センター CoCoDeo

■協力会商品説明会への協力

2023年9月26日（火）13:30～16:30
大雪クリスタルホールにて開催
士会、事務所協会、施工業者等への告知、協力